



今、ニッポンには この夢の力が必要だ。

(特非) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会

TOKYO2020.REF.NO.NEWS-12-71

2012 年 11 月 6 日

支持率調査結果について

賛成：67%（前回 66% +1%）

どちらともいえない：21%（前回 20% +1%）

反対：13%（前回 14% -1%）

※小数点以下四捨五入

特定非営利活動法人東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会は、第 3 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致支持率調査を実施いたしましたので、その結果をお知らせいたします。

【調査概要】

■調査方法：電話調査 *IOC による支持率調査を参考の上、招致委員会として独自に調査。

■実施時期：2012 年 10 月 10 日（水）～10 月 22 日（月）

■対象地域：東京 23 区、多摩地域・島しょ部

■調査対象：18 歳以上男女

■サンプル数：400

■過去の調査結果との比較

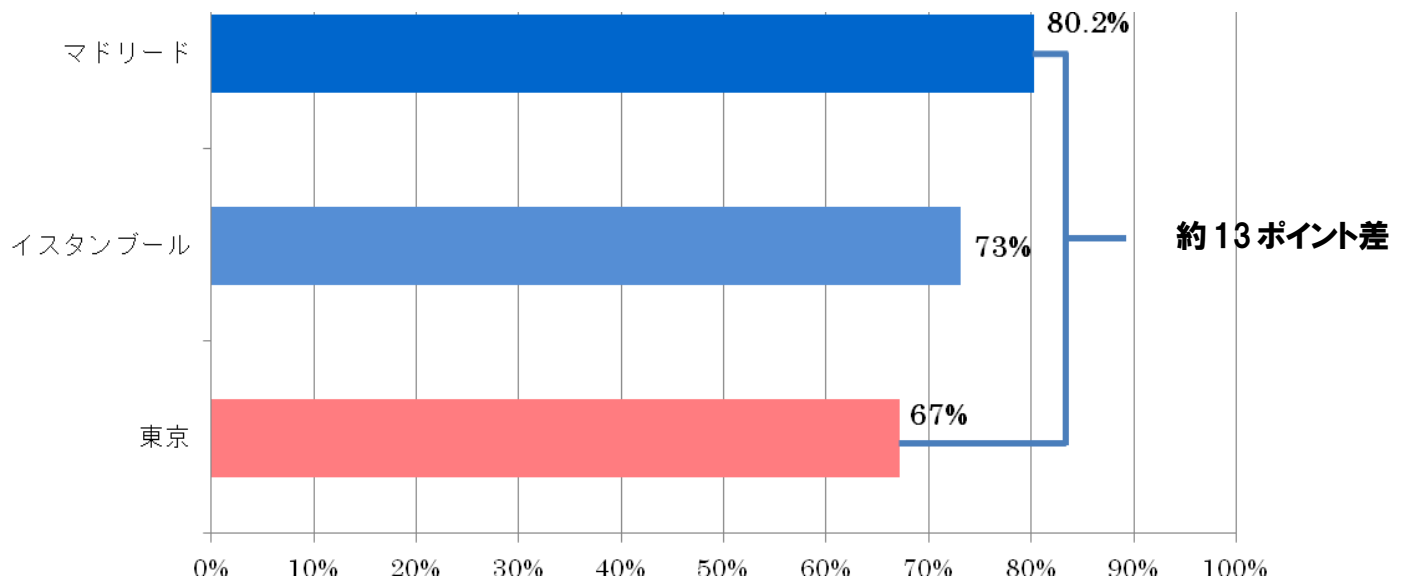
	【参考】 IOCによる支持率調査 (H24 年 5 月 24 日公表)	*招致委員会による第 1 回調査 ロンドンオリンピック開会前 (H24 年 7 月 14～22 日調査)	*招致委員会による第 2 回調査 ロンドンオリンピック閉会后 (H24 年 8 月 18～30 日調査)	*招致委員会による第 3 回調査 (H24 年 10 月 10～22 日調査)
賛成 (Support)	47%	58%	66%	67%
どちらでもない (No opinion)	30%	26%	20%	21%
反対 (Against)	23%	16%	14%	13%

※小数点以下四捨五入

■調査結果の解説：（）は前回調査結果

- ・今回調査では「賛成」の合計は、1%上昇の 67%と前回ロンドンオリンピック直後に実施した調査とほぼ変わらない安定的な数字を維持する結果となりました。
- ・「反対」合計は 13%（14%）で 1%微減となりました。
- ・「どちらともいえない」は、21%（20%）で 1%微増となりました。

■他の立候補都市との比較



マドリード：マドリード招致委員会独自調査（10月）

※小数点以下四捨五入

イスタンブール：IOC 調査発表（5月）

東京：招致委員会による第3回調査（10月）

- ・東京も支持率 67%まで上昇しましたが、最近ではマドリードの開催支持率が 80.2%を記録（マドリード招致委員会 10/10 発表）するなど、まだライバル 2 都市に及んでいません。

■調査結果に対するコメント

今回の結果について、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会としては、ロンドンオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍や、帰国後の各種の活動を通じて、都民の皆様に関心が一定レベルを保ち、もう一息のレベルにまでできていると実感しています。

ただし、他の立候補都市に比べ支持率はまだ低いため、東京招致を成功させるためには国民の一層の熱意と支持が必要です。

IOC の各都市支持率調査は、来年の 1～2 月に実施されるものと予想されていますが、実施が早まる可能性も考えられます。そのためには、年内に招致気運を高めておくことが最も重要です。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会では、国民の皆様と一体となった招致活動を目指して、年末・年始にも様々な活動を予定しています。

<開催都市決定までの主なスケジュール>

時期（13 年）	内容
1 月 7 日	IOC（国際オリンピック委員会）への立候補ファイル（詳細な大会開催計画文書）提出
3 月 4 日～7 日	IOC 評価委員会による東京視察
5 月 26 日～31 日	スポーツアコード会議でのプレゼンテーション（サンクトペテルブルク）
6 月 14 日～16 日	ANOC（国内オリンピック委員会連合）総会でのプレゼンテーション（ローザンヌ）
7 月	IOC が視察に基づく評価報告書を発表
7 月 3 日、4 日	各都市によるプレゼンテーションを実施（ローザンヌ）
9 月 7 日	IOC 総会で 2020 年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市決定（ブエノスアイレス）

【本件に関するお問い合わせ】

（特非）東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会

電話: 03-5909-2020

【2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会 招致について】

東京都と公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)は、2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の招致へ向け、2011 年 8 月、国際オリンピック委員会(IOC)へ立候補を申請。9 月 15 日、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会の第 1 回理事会が開催され、招致委員会は具体的な招致活動の戦略策定に着手しました。

2012 年 2 月、東京を含む、バクー(アゼルバイジャン)、ドーハ(カタール)、イスタンブール(トルコ)、マドリード(スペイン)の 5 都市が、IOC へ計画を記した「Application File(申請ファイル)」を提出。IOC はこのファイルを基に 2012 年 5 月 23 日(日本時間 5 月 24 日)に開催された理事会で東京・イスタンブール・マドリードを(一定の開催能力・要件を満たした)「立候補都市」として選出しました。

「立候補都市」は 2013 年 1 月 7 日までに、「Candidature File(立候補ファイル)」を提出。その後、IOC 評価委員会による各都市訪問、各種国際会議におけるプレゼンテーション(予定)等を経て、2013 年 9 月 7 日(日本時間 9 月 8 日)、ブエノスアイレス(アルゼンチン)で開催される第 125 回 IOC 総会にて IOC 委員の投票により、2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が決定します。